

平成 27 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ふるさとウォッチングまっぷ・第1集 作成事業
事業主体 (連絡先)	岡谷景観を考える会 事務局：柳澤 浩司 TEL/FAX：0266-22-2040 E-mail： kystock@kmj.biglobe.ne.jp
事業区分	(5) 景観保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	553,978 円 (うち支援金： 414,000 円)

事業内容

・ 景観講演会

平成 27 年 6 月 6 日(土)

岡谷市生涯学習センター(124 名収容)にて実施した。「歴史・風土と人間」という演題で信州の風土と、そこに息づく人間と歴史について講演していただいた。

・ ウォッチングまっぷ・第1集の作成

平成 27 年 6 月 1 日(土)～平成 28 年 3 月 15 日

平成 26 年までに開発したウォッチングマップの中から、6～7 コースを選び、距離、コースタイム、駐車場、トイレなどを調査探求し、またビューポイントの説明や写真を十分なものとす。それを冊子 (B5 版 32 ページ程度) にまとめて発行した。(1,000 部)



【景観講演】



【ウォッチングウォーク・まっぷ作成】

【目標・ねらい】

- ① 信州の風土と歴史に対して関心を持つ会員以外の一般市民、専門家も来場し、盛況であり信州の風土と歴史の学習ができた。
- ② 諏訪という郷土の自然や景観に関心を持つことができた。
- ② 郷土の歴史と風土、そして人間の息づきに深く共感できた。
- ③ ウォッチングまっぷ・第1集を作成し、公民館、図書館に配布することにより、老人クラブ等の団体に利用が期待される。
- ④ 7 小学校、4 中学校に配布することにより、課外活動、小遠足等に利用が期待される。
- ⑤ 地域住民が、このマップを主体的に利用することにより、景観意識が高まり、環境等にも影響し市民生活がより豊かなものになることが期待される。

- ① 信州の風土と歴史の学習
- ② 身近にある自然や景観に関心
- ③ 郷土を愛する感覚を養う
- ④ 小中学生の課外活動への活用
- ⑤ 閉じこもりがちの高齢者が、屋外に踏み出す手助けにする。
- ⑥ 郷土を愛する感覚を養う。
- ⑦ 市民にウォッチングコースを提供する。

今後の取り組み

今後も景観に関して造詣の深い講師に講演を依頼し、景観講演会を行う。ウォッチングウォークと景観研究会を開催し、景観ガイドを養成する。

ウォッチングコースの整備、またフェイスブックを使い、岡谷の景観の素晴らしさを発信する。

岡谷市の商工観光課にマップを置いていただき、岡谷に来た人々に利用してもらう。

※自己評価【B】

【理由】

専門家まで巻き込んで、景観講演会を行えたことは、講演会がいかに期待されたことであるかを証明している。

マップを作成し、各地区の公民館、公的施設、小中学校などに配布することにより、課外活動や多く市民にウォッチングコースを紹介できる。